

水資源の保全

■ 方針・戦略

古河機械金属グループでは第四期中期削減計画に基づき、水資源使用量を2028年度に予想される使用量から2%削減する目標を設定し、水資源使用の効率向上・再利用の促進に取り組んでいます。

水資源を守るため、生産拠点における定期的なモニタリングを行うとともに、生産拠点ごとのリスクを評価し、節水に努めています。水利用量の多い事業所/生産拠点には、現状調査を行い、削減目標を定め、削減に取り組んでいます。そのうえで、全社的な取り組みを進めるために、2023年度より国内主要生産拠点から海外を含む連結ベースに算出対象範囲を拡大したため、水資源使用量が24.8%増加しました。

また、水の入口である社有林の維持管理を計画的に行っています。

■ ガバナンス・体制

■ リスク管理

ガバナンス体制およびリスク管理の詳細は、環境マネジメントをご参照ください。

 [環境マネジメント\(P13\)](#)

■ 指標・目標

2023年度の目標:

・水資源使用量の削減:2023年度 BAU^{※1}比▲1.0%

2023年度の実績:

・水資源使用量^{※2}:521千 m^3 (2023年度 BAU^{※1}比▲12.7%)

※1 BAU(Business As Usual):何も対策を講じなかった場合

※2 主要生産拠点における水資源使用量の実績

■ 取り組み

水ストレスの評価

当社グループは、世界資源研究所(WRI)のAqueductを用い、当社グループの主要な拠点について水ストレスを確認しています。その結果、中国やタイの生産拠点において、水ストレスが高いことを確認しており、同地域における水資源使用量(取水量)は約10千 m^3 /年です。

そのため、水資源使用量を2028年度に予想される使用量から2%削減する目標を設定し、水資源使用量および水ストレスの削減に努めています。

なお、2023年度に水質や水量の許可・基準・規制違反は発生していません。

水資源使用の効率向上・再利用の促進

当社グループでは生産工程の効率化を推進し、一部の事業所において取水ポンプにインバーターを設置することで節水に取り組みました。これにより、同事業所では節水取り組み前と比較して、水資源使用量を31.7%削減することができました。